

体験型プログラムの

読み方



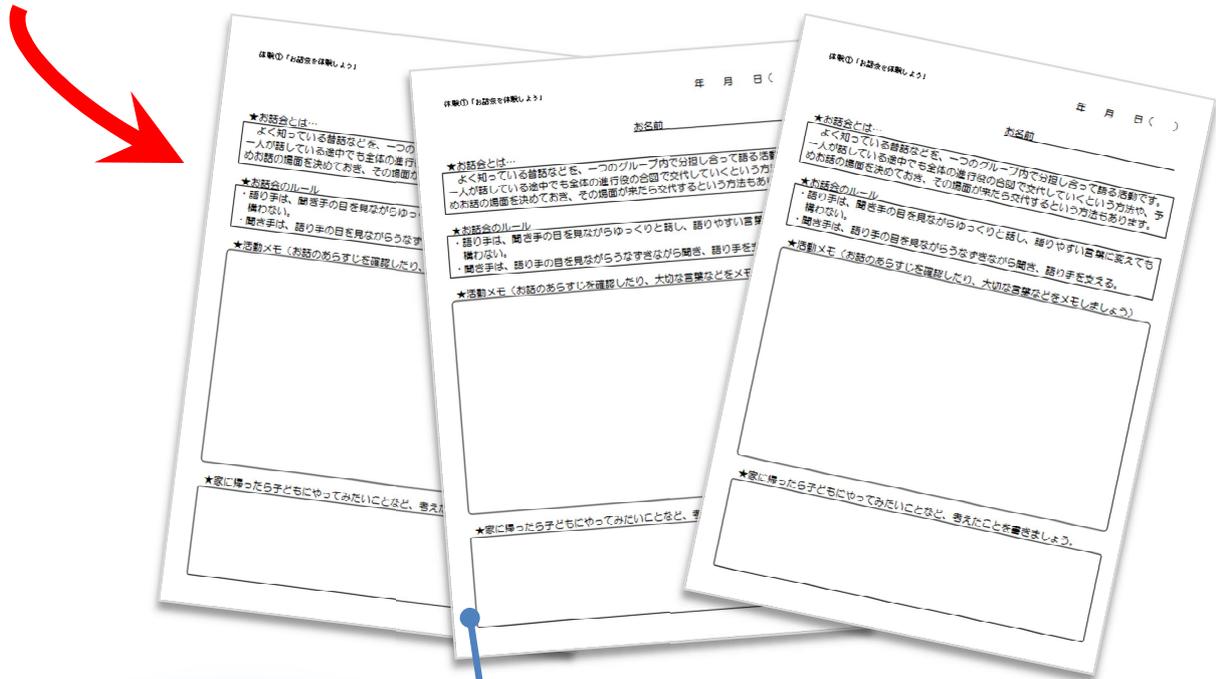
左のページは、プログラムの概要です。

①	発達段階・テーマ等	時間・発達段階・テーマを示しています。初めて行う場合は、 事前に試しの活動 を行い、実際にかかりそうな時間を予想しましょう。
②	活動の様子	イラストの会話例 に注目しながら、活動の雰囲気をつかみましょう。
③	準備物等	人数や会場の状況に応じて、準備する物品をそろえましょう。
④	プログラムのねらい	活動を通して、期待される姿を示しています。
⑤	期待される効果	プログラムが想定している保護者像を踏まえ、保護者にどのような変容を期待しているかを示しています。 チラシ作りにも活用 してください。
⑥	プログラムの流れ	あくまでも 例示 ですので、 実際の場や相手に合わせて修正 しましょう。
⑦	運営上の留意点	失敗しないためのポイントや、より活性化させるためのアイデアなどを例示しています。アレンジする際の参考にしましょう。

ワークシートの

使い方例

右のページは、プログラムで使うワークシートです。



あと

5分

プログラムやワークシートはあくまでも例です。講座や学級等の実態や企画に合わせて、アレンジしましょう。

体験型プログラムは、活動に夢中になるあまり、時間を忘れがちです。

進行役の方は、特に時間に対して、気を配ることが大切です。講座実施の際に便利な「残り時間タイマー」のファイルを入れてありますので、是非、御活用ください。

